

「恋人の聖地」に江津を認定

有福温泉町で除幕される認定プレート



人麻呂ロマンスの舞台 きょうプレート除幕

万葉の歌人・柿本人麻呂と石見国の妻・依羅娘子が愛を育んだとされる江津市が、カ

た。29日、同市有福温泉町で認定プレートの除幕式がある。

NPO法人地域活性

化支援センター（静岡市）が認定した。江津市は、人麻呂と依羅娘

子のロマンスの舞台とされ、相手を思い詠んだ「石見相聞歌」や「福ありの里」と言われる有福温泉などがある。福を求めて訪れるカッブルも多く、プロポーズにふさわしい場所として選んだ。

市内の観光施設などでつくる「江津ブランド開発研究会」が申請し、7月に選定された。同会の植田智之会長は「出雲で縁を結び、江津を訪れ縁を深める場としてほしい」と話している。

聖地の認定は、地域の新たな魅力づくりのため2006年から始まり、現在全国で115カ所ある。

29日は午後3時から、有福温泉の御前湯前で除幕。記念撮影会なども予定している。

（浜岡学）